

様式第 2 号

視察研修先	岐阜県高山市	氏名	荒木春吉
視察研修項目	観光振興について		
感想・所見など			
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 令和 5 年より、観光課と海外戦略課の 2 課でどうやってインバウンドを迎えるのかに取り組んでいる。時間はかかるが積み重ねが大事。</li><li>2. 労働力と人手不足が課題。コロナ渦もありインドネシア人を確保した。外国人学生の確保にも挑戦している。</li><li>3. 令和 8 年の予算獲得に現在進行中。外国人対応は市長選の公約でもある。</li><li>4. 体験型観光は、自らの景観を活かしていないし、持て余しているよう。二次交通不足も課題。</li><li>5. 多文化共生（調整）には姉妹都市連携で対応。広域連携も役立っている。</li><li>6. 客の把握と将来の推計等のデータはこれから数値の吟味を行う。今般の日本人減もあり。A I etc. を活用する。</li><li>7. DMO とは一心同体であり、連絡を密にして活動に勤しむ。</li></ol>			

様式第2号

視察研修先	岐阜県下呂市	氏名	荒木春吉
視察研修項目	下呂市地域公共交通計画について		
感想・所見など			
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 当計画の基本方針は“どこでもアクセスできる交通ネットワークの形成”であり、目標は“交通空白地の解消”。</li><li>2. 公共交通の運行経費と料金負担の関係は非常に悩ましいところ。とても持続可能とは思えぬ。(利用者数は10万人余りだから)</li><li>3. 二次交通は、ニーズ把握が難しいのと収益向上のコンテンツ不足の課題があり運行せず。</li><li>4. 空白地解消は、自前のデマンド交通で何とか対応したい。</li><li>5. 今後の計画は、リニアと高速交通網が将来される中、JRとバスの同滑化や共同経営等を模索する。</li><li>6. 15年後には2万人を切る人口減が予想されている。持続可能な公共交通とは頭が痛い難問である。御市ばかりではないが…。</li></ol>			

様式第 2 号

視察研修先	岐阜県土岐市	氏名	荒木春吉
視察研修項目	土岐市地域資源活用推進計画について		
感想・所見など			
<p>1. 年間平均気温が15℃の土岐市は、1400年の伝統がある美濃焼の里であり、35%のシェアを持つ焼物生産量日本一のところでもある。</p> <p>2. 推進計画策定には、5課題の解決策として意義を持つ。①自然を活かしたまちづくり、②人口減対策、③産業継承、④観光での関係人口増、⑤ふるさと納税による応援</p> <p>3. 策定方法は“数珠つなぎヒアリング”という各のワークショップ。公募を行い1回当たり20名余りで知恵を出し合った。地道に議論した。</p> <p>4. 御市土岐の将来のテーマは“にぎわいと活力のある地域”とのこと。発掘された資源は①美濃焼、②史跡と祭り、③郷土食、④自然・文化、⑤人物・団体。</p> <p>5. 茶聖千利休と数寄者古織公の地には、憧れる山田芳裕のマンガ「へうげもの」を慌てて見た。年がら年中陶器市をやっているじゃないか。是非参上して散財したいもの。</p>			